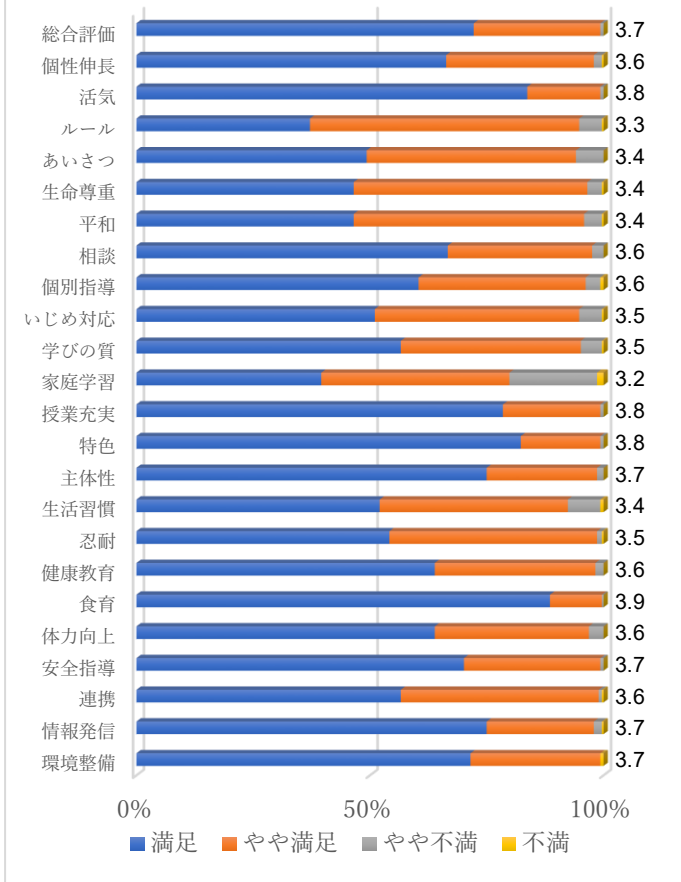
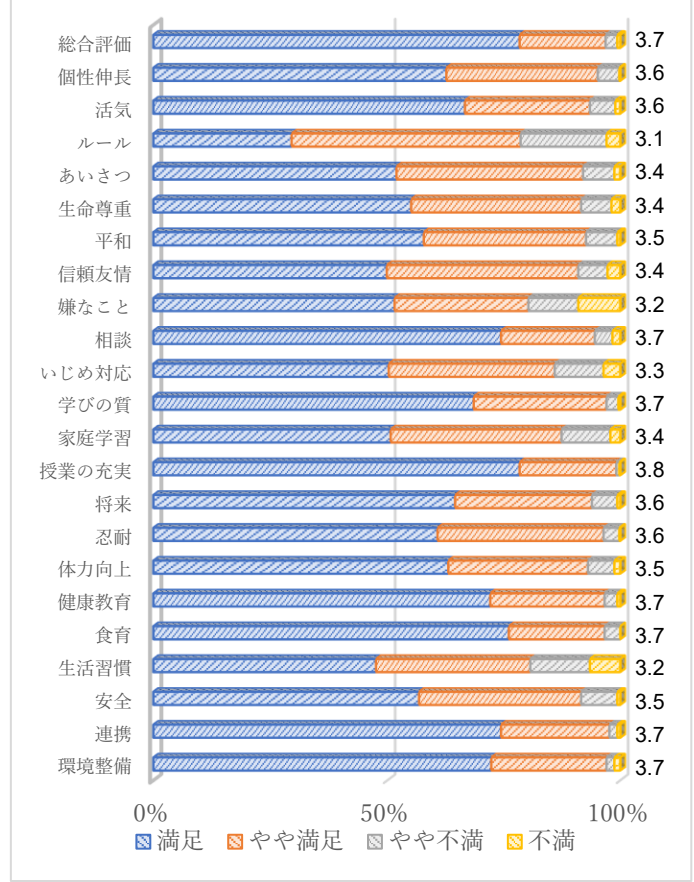


2月に保護者・児童を対象とした学校評価（アンケート調査）を実施いたしました。調査への御協力、ありがとうございました。附属小では、経年変化を基に、対策の手掛かりを得ることから、昨年度と同様に4段階評価中、3.3ポイント以上を達成レベルとしています。

学校評価（保護者結果）



学校評価（児童結果）



【保護者の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価をいただいた項目は、15項目あります。「総合評価」「個性伸長」「活気」「相談」「個別指導」「授業充実」「特色」「主体性」「健康教育」「食育」「体力向上」「安全指導」「連携」「情報発信」「環境整備」です。

昨年度との比較で評価が下がった項目は、「個性伸長」「平和」「学びの質」「家庭学習」「忍耐」「体力向上」「情報発信」の7項目です。各0.1ポイントずつ下がり、「家庭学習」は3.3ポイントを下回る結果となりました。「何をどのように取り組めばよいのかが分かりにくい」「子どもによって学習量や質に差がある」といった課題が背景にあると考えられます。次年度より、オンラインドリル導入を検討しております。家庭学習での方向性を明確にし、学習習慣の形成に向けた連携をより強固にしていくことができればと考えております。

また、「生活習慣」「ルール」の向上において、なぜその習慣や約束が必要なのかを子ども自身が理解し、自ら判断して行動できる力を育てることが重要です。そのためにも、学校での取組や子どもたちの様子を丁寧に発信し、御家庭と目標や成長、課題を共有しながら、一貫した関わりを進めていきたいと考えております。

【児童の学校評価について】

3.6ポイント以上の高い評価となった項目は、14項目あります。「総合評価」「個性伸長」「活気」「平和」「相談」「学びの質」「授業充実」「将来」「忍耐」「体力向上」「健康教育」「食育」「連携」「環境整備」です。

昨年度との比較で評価が上がった項目は、「相談」です。

下がった項目は、「総合評価」「あいさつ」「生命尊重」「平和」「嫌なこと」「いじめ対応」「体力向上」「生活習慣」の8項目です。3.3ポイントを下回るものとして「嫌なこと」「生活習慣」の2項目があります。「相談」や「健康教育」「食育」は、高い水準を維持しておりますので、細やかな児童対応や家庭との連携を充実させ、対応を図ってまいります。

昨年度に引き続き、「学びの質」や「授業の充実」は高いレベルを維持し、学校全体での研究・研修の成果が表れています。

一方、「ルール」については、昨年度同様3.1ポイントと、達成レベルに至っておりません。本年度より、子どもの自治力向上を目指し、ルール等を提案できる場「らしさみっと」の取組を始めました。ルールの意味を問い直したり、自ら創ったりすることで、自律的な規範意識の向上に努めてまいります。